
広域連合ビジョンについて（概要）

かずさ水道広域連合企業団

1 かずさ水道広域連合企業団について

平成31年4月1日 事業統合・給水開始

次の2つの事業を行っています。

- **水道用水供給事業**

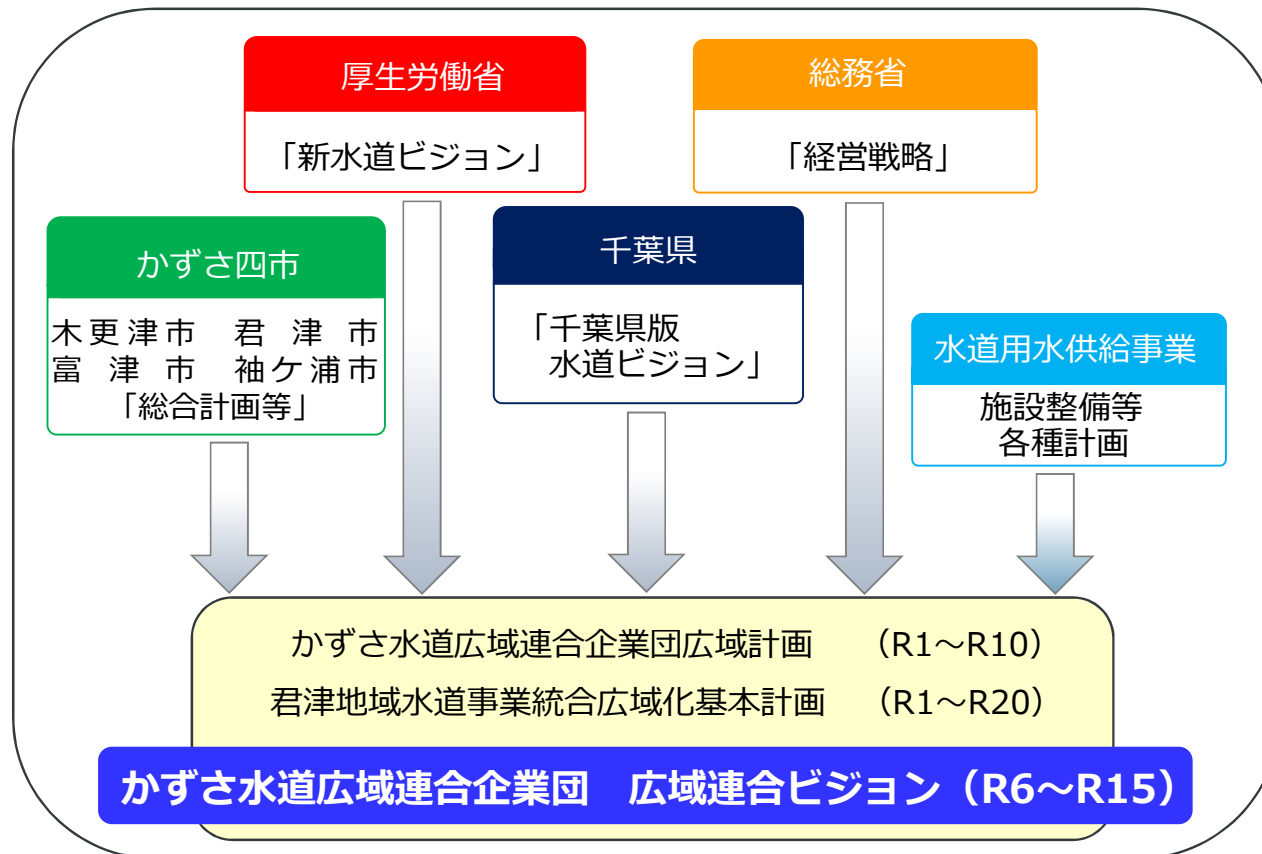
水道用水をつくり、千葉県営水道並びに木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市に供給する事業

- **水道事業**

供給された水道用水や地下水を各家庭に配水する事業



2 広域連合ビジョンの位置づけ



基本計画には令和6年の料金改定までに「広域連合ビジョン」を策定することとされており、基本計画に基づいて令和6年度から10年間を計画期間とした本ビジョンを策定しています。

3 現状と課題

1 基本計画の進捗（課題の整理）

(1) 施設（モノ） ～【安定給水の危機】の解消に向けて～

基本計画における統合の効果（目標）

- | | |
|--------------|---------------------|
| ① 老朽管・施設の更新 | ② 管路及び配水池の耐震化 |
| ③ 緊急時の水道水の確保 | ④ かずさ四市の施設水準の向上、均一化 |

《課題の整理》

- ・ 管路更新はしているものの、有効率が上昇していない。
- ・ 災害時の水道水確保のため、配水施設の耐震化を計画的に進めていく必要がある。

3 現状と課題

1 基本計画の進捗（課題の整理）

(2) 管理体制（ヒト） ～【技術継承の危機】の解消に向けて～

基本計画における統合の効果（目標）

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 専門技術の継承 | ② 危機管理能力の向上 |
| ③ 効率的な維持管理の実現 | ④ サービス水準の向上、均一化 |

《課題の整理》

- ・ 専門技術を継承し、事業を継続するため、今後も知識や技術力を十分備えた企業団正職員の育成が必要である。
- ・ 各種システムや事務処理方法が完全に統一されていないため、運営が非効率になっている。

3 現状と課題

1 基本計画の進捗（課題の整理）

(3) 料金、費用、財源（カネ） ～【経営の危機】の解消に向けて～

基本計画における統合の効果（目標）

- ① 人員の削減と事務の効率化によるコスト抑制
- ② 施設の統廃合による施設整備費の削減
- ③ 財源の確保

《課題の整理》

- ・ 支出はおおむね基本計画どおり推移しているが、漏水事故による修繕費用など計画外の費用の発生により、四市合計では、計画値と比して増加傾向が続く。
- ・ 下水道などの他事業に合わせて管路の切り廻しを行う工事など、統合交付金対象外の事業も行う必要がある。

3 現状と課題

2 水道を取り巻く環境の変化

(1) 大規模な自然災害、漏水事故



受電箇所への倒木（木更津市）



清和市場配水場付近の倒木（君津市）



送水管復旧の様子（富津市）

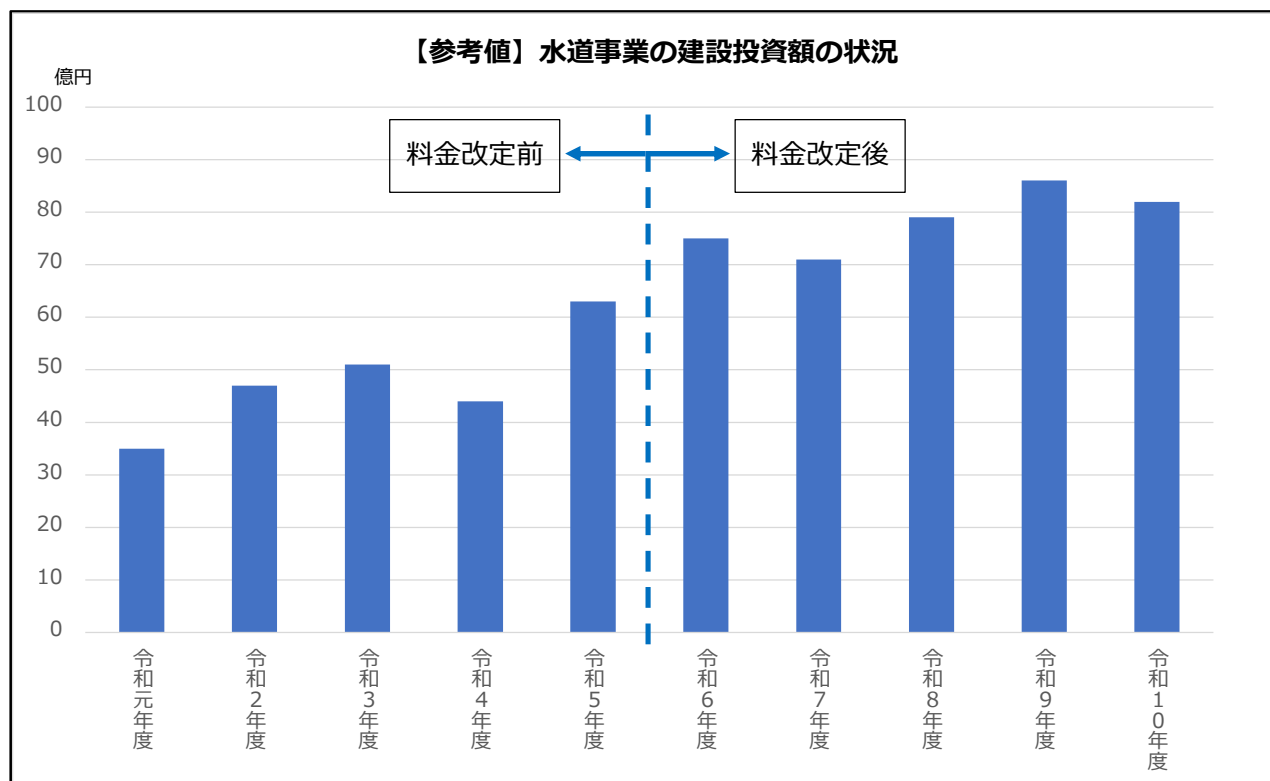
令和元年台風による大規模な停電や送水管破損による漏水に伴い、給水区域内で長期間の断水となりました。

【断水期間】 台風15号：最大17日 台風19号：最大5日 送水管漏水事故：最大6日

3 現状と課題

2 水道を取り巻く環境の変化

(2) 物価上昇による費用の増加



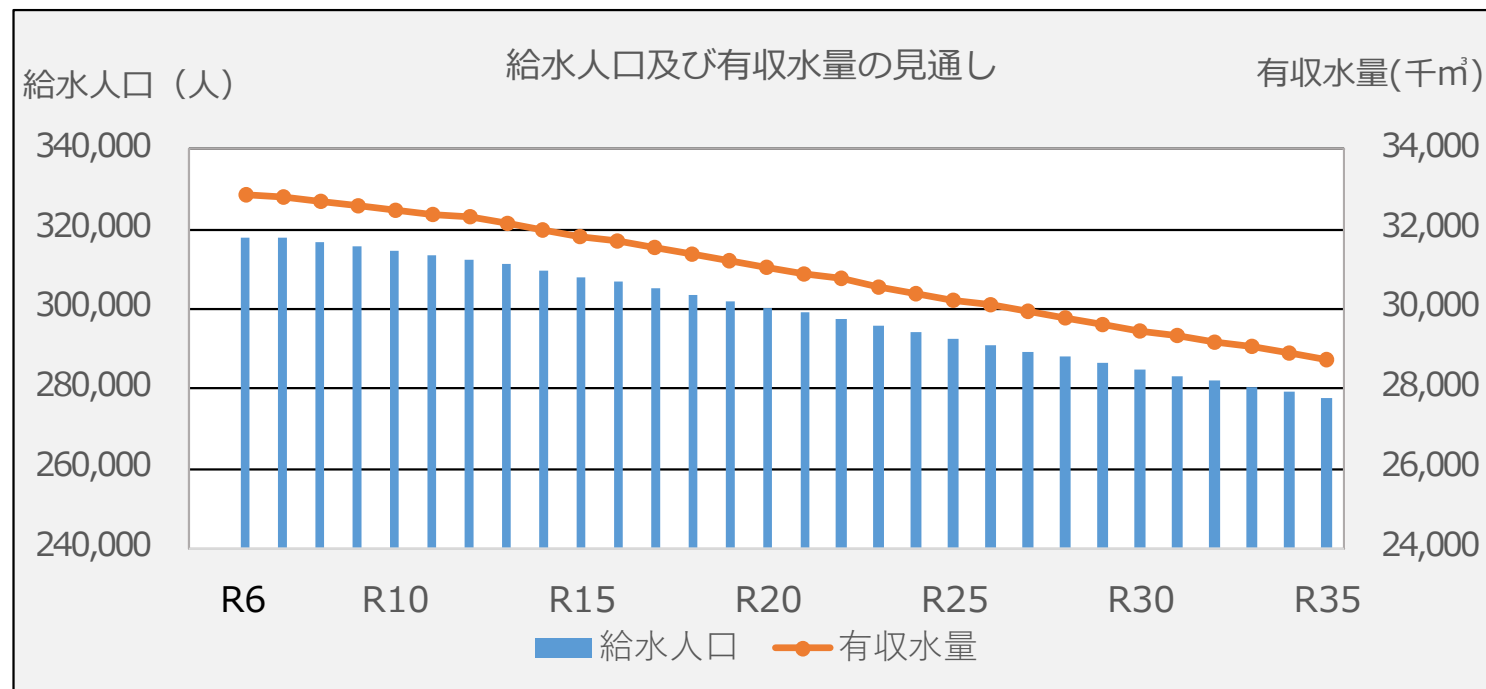
令和元年度から
令和5年度までの合計
240億円

令和6年度から
令和10年度までの合計
393億円

3 現状と課題

3 将来見通し

四市水道事業における給水人口及び有収水量の見通し(令和6年度から令和35年度まで)



令和6年度から
令和35年度
までの30年間で
給水人口及び
有収水量ともに
約13%減少。

※ 令和4年度実績値を基に各種統計資料を調整して算出した。

4 基本理念

《広域連合ビジョン基本理念》

安心できる かずさの水を 次世代へ

安心できる水を提供するとともに、50年後、100年後の未来を見据えて
安全で強靱な水道を次世代へ継承し、持続可能な水道を目指すため、上記の基本理念を掲げ、
「現状と課題」の整理を行った上で、
「強靱」「安全」「持続」の項目ごとに施策を定め、事業を推進していきます。

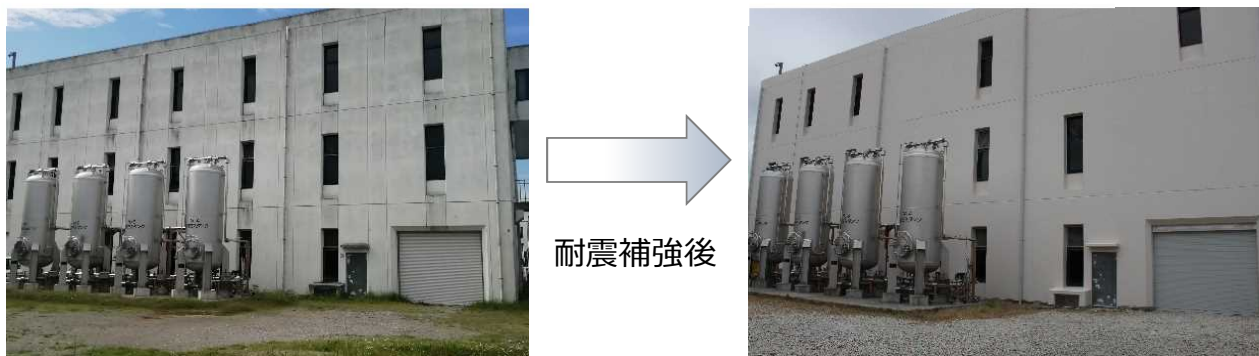
5 実現施策

1 強靱【災害に強い水道】

《施策目標》 災害に強い施設づくりと危機対応力の向上

《実現施策》

- (1) 主要な施設及び管路の耐震化、停電対策
- (2) 適正な維持管理による水道施設の機能保持
- (3) 県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化



水道用水供給事業（大寺浄水場）排水処理施設における耐震化

5 実現施策

2 安全【安心安全な水】

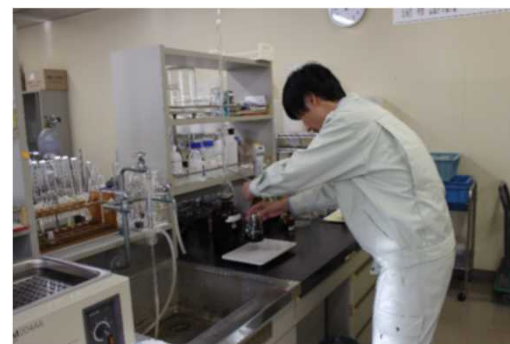
《施策目標》 安心で安全な水の安定供給

《実現施策》

- (1) 安定した水源の確保
- (2) 適正な水質管理、水質検査水準の維持
- (3) 再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討
- (4) 情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み



水源調査（採水）の様子



水質検査の様子

5 実現施策

3 持続【持続可能な経営】

《施策目標》 経営基盤の強化

《実現施策》

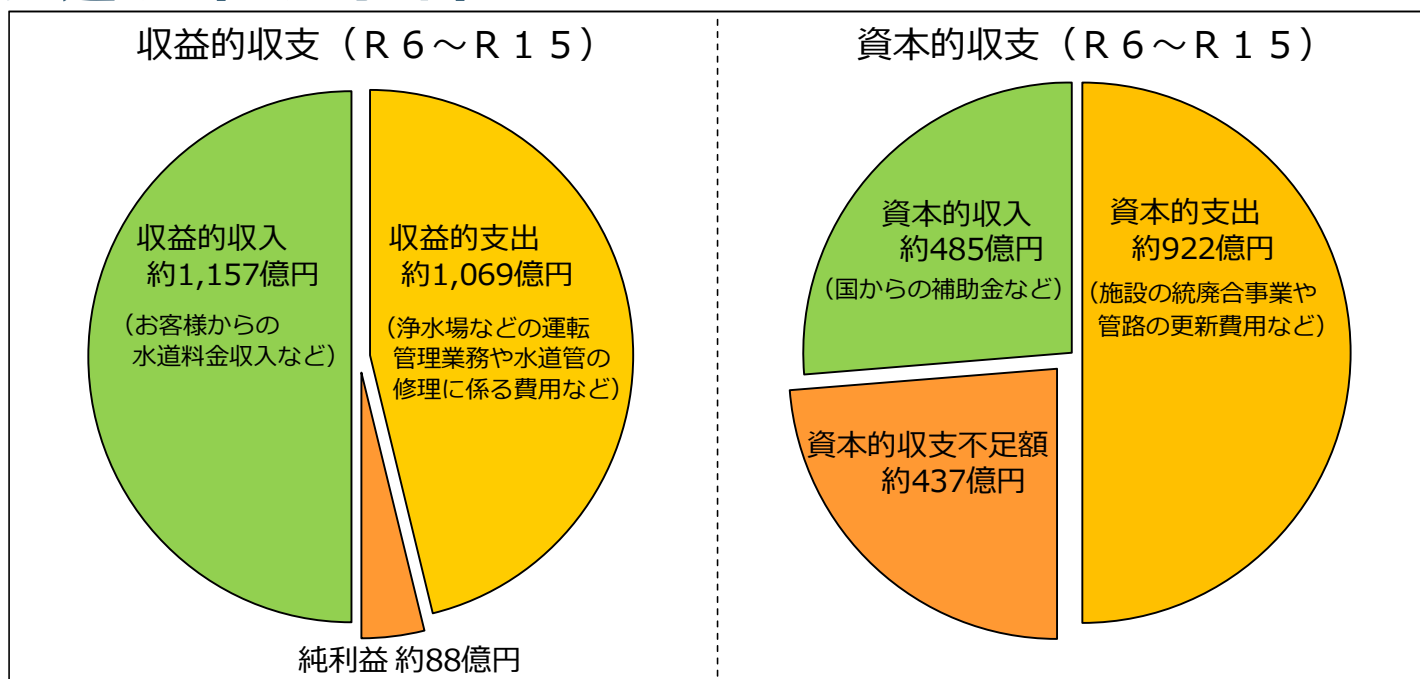
- (1)安全・強靱な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成
- (2)事務の効率化推進、一体化
- (3)施設統廃合計画の推進による施設の適正化
- (4)将来を見据えた管路の整備
- (5)お客様への情報提供の充実
- (6)ICT（情報通信技術）など新しい技術の導入調査、研究
- (7)持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一



管路の布設の様子

6 財政収支見通し

財政収支見通し（水道事業）



水道事業の運営、管路や施設の維持管理等に係る収支

管路や施設の新設・更新、固定資産の購入等に係る収支